

⑨ 協働の機会創出事業

企画部 県民協働・NPO課

1 目的

「長野県行政・財政改革方針」の取組の柱である「県民参加と協働の推進」を行い、NPO等の民間の多様な主体と県との協働により一層質の高い公的サービスの提供や地域課題の解決を目指す。

2 現状と課題

平成23年度にNPOと県民、企業を対象に行った実態調査の結果、協働に対する理解不足、情報発信力不足、NPOの企画力や継続力の不足といった状況がみられた。

また、県民協働を進める信州円卓会議等の議論において、異なる団体の連携にはそれをつなぐ機能が重要であり、庁内に担当分野を超えたコーディネート役、双方にとっての相談・提案窓口が必要とされている。

3 事業内容

ボランティア交流センターながのに「協働コーディネートデスク」(仮称)を設置して、県民と県の各部署との協働を一元的に支援する。

◆協働のコーディネート機能

日常的に県民、NPO、企業等からの提案を受け

- ・複数の部署にまたがるもの
- ・担当部署がよく分からないもの
- ・協働に関するなんでも相談

◆協働の拠点としての機能

- ・県民との協働による県の施策推進、体制づくり支援
- ・協働相手との出会い、交流の場の創出

◆NPO活動支援のハブ機能

- ・県内の中間支援組織が集まって連携する場の創出
- ・コーディネートを通じたNPO等との緊密な繋がり、サポート人材の紹介

◆情報提供機能

- ・長野県の協働、NPO活動の豊富な情報の提供と発信

4 予算要求額 7,498千円

新 地域交通システム再構築促進プロジェクト事業

企画部 交通政策課

1 趣 旨

地域の実情に即した交通サービスの導入等を促進することにより、持続可能な地域交通システムへの再構築を図る。

2 現 状

地域交通については、日常生活に必要な交通の確保と併せ、市町村の交通確保に要する財政負担の増嵩が大きな課題となっている。

既存の交通サービスのあり方を見直し、小規模需要に対応した移動手段の導入、広域的な調整による効率的な交通の確保を図るなど、地域の実情に応じた持続可能な交通システムへの転換を促進する必要がある。

3 事業内容

(1) 地域交通システム再構築ガイドライン策定

地域が交通システムの改善を行う際のモデル事例や手法を紹介

(2) 地域交通システム再構築促進セミナー開催

地域交通の専門知識や関係者との調整ノウハウを有する地域リーダーの育成

(3) 地域交通システム再構築促進モデル事業

人口減少・高齢化が進む中山間地域等における持続可能な交通システムへの転換を促進するため、交通需要に相応しい効率的な交通システムへの再構築の取組を支援し、その効果を実証するとともに他地域への波及を図る。

4 予算要求額 4, 833千円

新 ながの結婚・子育て応援事業

企画部企画課

1 目的

未婚者の増加が少子化の最大の要因になっているため、子育て支援に加え、結婚を希望する者の出会いの機会を拡大することなどにより、少子化傾向の改善を図る。

2 事業内容

(1) ながの結婚・子育て応援宣言（仮称）

結婚と子育てを社会全体で考える第一歩として、キックオフ・フォーラムを開催し、県を上げて結婚・子育ての応援を宣言する。

(2) ながの結婚応援センター（仮称）の設置

信州出会いサポーター（仮称）の募集・登録・研修、ポータルサイトの構築・運用などを行う「ながの結婚応援センター（仮称）」を設置する。

〔実施事業〕

① 信州出会いサポーター（仮称）制度の創設

婚活に関わる個人・団体を信州出会いサポーターとして募集・登録・委嘱し、出会いの機会を拡大するなど若者の結婚をサポートする。

② ながの結婚応援ポータルサイトの構築

若者の結婚をサポートする各地の出会いサポーターの情報交換の場や出会いの機会に関する情報が一目でわかりやすく提供できるポータルサイトを構築・運用する。

③ 婚活セミナーの開催

異性とのコミュニケーション能力を向上させるセミナー等を開催する。

(3) 農業青年婚活サポート事業

異業種との出会いが少ない農業青年に対して、農村集落を維持し地域の活力を残す観点から、農業青年の結婚活動の支援に取り組む農業団体等を支援する。

(4) ながの子ども・子育て応援県民会議の運営（継続）

子どもと子育て家庭を支えるために、県民会議を通じて連携・協働による取組みを推進する。

3 予算要求額 23,064千円

子ども・若者の育成支援施策の総合的推進について

企画部次世代サポート課

新 困難を有する子ども・若者の社会的自立支援事業

1 趣旨

ニート、ひきこもり等の社会的生活に困難を有する子ども・若者に対し、アウトリーチ(訪問相談)居場所の提供、宿泊を伴う研修を実施する支援団体に助成するとともに、支援団体の人材養成講習会を開催します。

2 事業内容

事業名	支援事業内容
訪問相談 (アウトリーチ)	ひきこもり等の状態にある要支援者の自宅などを訪問し、外出、居場所等への通所等、社会参加に向けた働きかけを行う。
出口戦略を持った 居場所	要支援者が自宅以外で安心して通所できる施設であり、また、将来に向けた出口戦略を持って運営されている居場所を提供する。
宿泊を伴う研修	要支援者が生活習慣の確立など、家庭を離れた環境で社会的自立に向けた訓練等を受けた方が適切な場合は、宿泊を伴った研修・訓練を行う。
人材養成講習会	困難を有する子ども・若者の育成を支援している団体の人材養成を行う。

3 予算要求額 11,000千円

新 ながの版 通学合宿事業

1 趣旨

子どもたちの自立心やコミュニケーション能力を養うため、地域の公民館などで共同生活をしながら学校へ通う「通学合宿」に対する経費を助成します。

2 事業内容

‘ながの通学合宿コーディネーター’派遣制度導入

○コーディネーターの設置

通学合宿を効果的に実施するために、コーディネーターを設置し、プログラムに沿った内容になるように支援を行うため、実施団体へ派遣する。

○実施スタッフを実施団体へ派遣

ながの版 通学合宿の内容

- 地域における長期生活体験プログラムの実施
- 地域貢献活動の実施
- 地域のプロフェッショナルを講師に迎え、子どもたちと交流

3 予算要求額 4,000千円

新「アート・リゾート信州」の構築

企画部生活文化課
 予算要求額 57,100千円

目指す姿

人を文化により刺激し「幸せ感」ある新たなライフスタイルを提案する「アート・リゾート信州」の構築。

アート・リゾート信州

リゾート

(人が住み、人が交流する場)

- ・暮らしの中の「余暇・ゆとり」
- ・自然から感じる「生命・癒し」
- ・非日常感からくる「自己開放」

アート

- ・身近な「キャンバス」にあるアート
⇒暮らしの中で感じる“豊かさ・潤い”
- ・様々な「素材」から選べるアート
⇒新たな“発見”から感じる刺激
- ・高品質な「彩り」あるアート
⇒磨き抜かれた本物から感じる“感動”

※ 平成 25 年度、○を付した事業を重点実施

キャンバス

- 若手アーティスト等が集い、アートあふれる豊かな街
- 公共的施設等でのアーティストによる観客参加型パフォーマンスの実施
- ホテル・旅館でのコンサート・展示会の開催、アートに彩られた部屋やアート作家製作食器による食事の提供等



©ヘブンアーティスト運営実行委員会

- 誰もがアートに親しむことができる豊かな環境
- ・バリアフリーへの対応等気軽に利用しやすい文化施設の環境整備
- ・文化施設の自主企画による多様なイベントの実施

取組みの方向

素材

- 新たなアートの発見
 - ・若手芸術家やアール・ブリュット作家等の発掘・育成
 - ・芸術家の新たな活動拠点づくりの検討
- 次世代アーティストの発見
 - ・伝統的文化を支える次世代の育成
- 息づくアートからの発見
 - ・旅館等所蔵の文化的財産のリストアップによる紹介
 - ・長野県が生んだ偉大な文化人から学ぶアート



彩り

- 最高水準のアートによる感動
- サイトウ・キネン・フェスティバル松本の開催(継続)
- ・県内の芸術文化等の“美”の発信拠点として、東山魁夷作品や周辺環境を活かした信濃美術館の整備検討



生命力あふれる自然の中で、豊かな時間を過ごし、個を磨き、個が磨かれる長野県